

コンプウッド処理材を活用する 曲木の生活用品への応用



技術シーズ創生研究事業（発展ステージ）

デザイン部 有賀康弘、内藤廉二

ねらいと成果

コンプウッドシステムによる曲木技術は、木製品のデザインの可能性を拡げることができます。本研究では、従来の木工技術とこれまでの研究成果である ①木材の弾性（しなり）を大きくする性能、②常温下で可能な3次元曲げ加工性、を効果的に組み合わせてコンプウッド処理材ならではのプロトタイプを作製し、展示会で来場者の評価を収集しました。

蓄積してきたコンプウッドシステムによる曲木技術のノウハウは、木製品製造業の活性化と発展につながるよう技術移転していきます。

■ アームチェア

座面の先端をスプリング形状にしてクッション性を持たせ、膝裏へのあたりも良くしています。



■ スツール

弾性が大きくなる性能を座板に活かしています。



■ 靴ベラ

曲げ加工の曲面成形で材料の歩留まりがよくなっています。



■ プロトタイプの評価

全国の木材製品を展示する「WOODコレクション2018」（主催：東京都）に出展しました。来場者からの感想は座のしなり具合に驚く一方で、しなりが大きすぎて怖さを感じるなどの意見もありました。材料の特長を活かしつつ製品のスタイルや構造を工夫することも必要です。

